

【公募制推薦 文芸学部 小論文について】

文芸学部の小論文試験は、指定された課題図書を事前に読んだ上で試験に臨んでいただきます。大学での学びでは、時間をかけて課題と向きあい、考えを深めることが大切です。その際、読書を通して考えを練り、まとめる力はとても重要です。文芸学部ではそういう力をもつ学生を募るために、このような形の試験を実施しています。

文芸学部の2023年度公募制推薦入試の課題図書は、以下の通りです。

【課題図書】

1. 芥川龍之介「羅生門」全文(刊本は特に指定しない)
2. 半沢幹一『最後の一文』(東京、笠間書院、2019)特に pp.3-6, 20-23

課題図書「2」については、受験票に同封して発送いたしますが、ご自身で探し得て読んでいただいても構いません。

上記の課題図書を事前に読んだうえで、試験に臨んでいただくようお願い致します。